

第2回 生活・利用に関する検討部会 議事概要

日 時：平成19年12月6日（木） 14：00～16：00

場 所：石垣港離島ターミナル 第一会議室及び第二会議室

参加者：委員21名（内訳：個人2名，団体・法人8名，地方公共団体7名，国2名）
報道関係者1名

議 事：

- (1) 第1回生活・利用に関する検討部会における議事概要・課題抽出結果について
- (2) 石西礁湖の再生と利用についての課題抽出について（小グループ）
- (3) 小グループにおける課題抽出結果の取りまとめについて
- (4) その他

概 要：

- (1) 第1回生活・利用に関する検討部会における議事概要・課題抽出結果について
部会長の議事進行に基づき、運営事務局より前回の議事概要（資料3）について説明された。

部会長の議事進行に基づき、運営事務局より前回抽出された課題及び追加ヒアリング結果（資料4）について説明された。

部会長の議事進行に基づき、運営事務局よりディスカッションの方法（資料5）について説明された。

- (2) 石西礁湖におけるサンゴ礁生態系と利用の共存について
部会長より、前回抽出された課題及び追加ヒアリング結果に対しての加筆修正について、小グループ毎にディスカッションするよう指示があった。

約40分のディスカッションを行い、各グループから抽出された課題を優先順位の高い順に進行役より発表された。優先順位の高い課題は以下のとおりであった。

< Aグループ >

- ・ダイビング船、漁船へのアンカリング等のルール作り
- ・海中公園の拡大
- ・着地型観光（島間交通）を進める
- ・旅行者の増加、安全面の検討
- ・（安全面、対策）各業種間のルール
- ・高速船の夜間基準
- ・遊漁船を登録すべき ルールを持たせる
- ・ダイビング利用と漁業利用の調整
- ・観光船の高速化と競争の激化

- ・赤土などの流入を防ぐための強化策の策定
- ・水産資源管理の徹底
- ・観光客の入域について
- ・ダイビング利用について
- ・海面利用に関する現状・実態の調査、漁業・観光
- ・公のアンカーリング用ブイ設置
- ・遊漁による過度な魚のとりすぎ
- ・原：浅瀬により船の運航の安全が保てない
対応：安全な航路の確保、航路の限定、利用客の少ない時間帯での共同運航
- ・ダイビング、シュノーケリングによるサンゴの損失
- ・原：アンカー投入によるサンゴ損傷
対：アンカー用ブイの設置（多数必要）
- ・クリアランス船の増加によるアンカーでのサンゴの破壊
- ・漁業資源管理が十分でない
- ・マスコミ、メディアへのアピール。観光客へ
- ・ダイビングポイントの設定増加
- ・安全で安心な航路確保
- ・安全な夜間運航の確保
- ・環境へ与える影響の比較
- ・漁業資源の利用制限、区域設定

< Bグループ >

- ・ダイビング船、漁船へのアンカリング等のルール作り
- ・サンゴの移植
- ・人材育成（自然環境に従事する人）
- ・赤土や生活雑般水の防止対策の遅れ
- ・利用ルールの設定
- ・ゾーニングすることにより環境負荷を軽減できる

< Cグループ >

- ・資源管理ルールの広報
- ・アンカーブイ設置問題
- ・航路安全関連施設（灯標）の整備
- ・漁業者とダイバーとの協調促進
- ・特定資源の選定（国の指定後には罰則付き規制が可能：エコツーリズム）
- ・漁業者のルール確立 6月の総会（漁協）でルールは策定済みだが運用は未
- ・遊漁者の組織化
- ・漁業者と遊漁者の話し合いの場
- ・観光漁業の推進
- ・漁業・遊漁・ダイビング全体での調整と組織への加入率の問題

- ・ 保全の資金確保
- ・ 赤土流出問題への対応

(休 憩)

(3) 小グループにおける課題抽出結果の取りまとめについて

運営事務局より、小グループから抽出された優先順位の高い課題を取りまとめた結果を説明された。

部会長より、今回のディスカッションだけでは十分に意見が出せなかった方は、運営事務局へのメールやFAX等にて提出することが可能であることが説明された。

(4) その他

運営事務局より、次回の部会開催日時については、第7回の自然再生協議会が2～3月頃開催予定であることから、その前までに開催する予定であることが説明された。

以上